

14 なごやし あいちけん 名古屋市(愛知県)

(3)自転車安全利用啓発キャンペーン

■ 施策内容

名古屋市緑政土木局道路部自転車駐車対策室が主体となり、平成14年7月8日に、名古屋市中区錦三丁目及び大津通（栄交差点～桜通大津交差点）において、「自転車安全利用啓発キャンペーン」を実施しました。

自転車に乗り始める幼稚園児と保護者に参加していただき、適正な自転車利用について理解していただきました。

警察音楽隊を先頭にパレードを行い、大津通沿線の人々にも安全で適正な自転車利用を広報しました。

また、自転車は環境負荷の少ない乗り物であることを広報するために、歌と踊りで幼稚園児と遊びをとおして楽しく学習してもらいました。

■ 施策目的

自転車走行空間の趣旨広報及び適正な利用促進の啓発、交通安全指導を目的とします。

■ 施策実施状況



自転車利用環境整備について 1
(ぬいぐるみ劇による広報)



自転車利用環境整備について 2
(ぬいぐるみ劇による広報)



自転車利用環境整備について 3
(ぬいぐるみ劇による広報)



みんなで取り組むエコライフ 1
「みんなでへらそう CO₂」の歌と踊りによる広報

なごやし あいちけん
14 名古屋市(愛知県)

(3)自転車安全利用啓発キャンペーン



みんなで取り組むエコライフ 2

「みんなでへらそう CO₂」の歌と踊りによる広報



みんなで取り組むエコライフ 3

「みんなでへらそう CO₂」の歌と踊りによる広報



警察音楽隊による演奏 1



警察音楽隊による演奏 2



パレード (栄交差点から桜通大津) 1



パレード (栄交差点から桜通大津) 2



パレード (栄交差点から桜通大津) 3



パレード (栄交差点から桜通大津) 4

(3)自転車安全利用啓発キャンペーン



自転車マナー向上を
利用促進キャンペーン

利用促進キャンペーン

自転車の利用促進を目的とした交通安全啓発キャンペーンが、二〇〇〇年に「名古屋市自転車安全利用促進キャンペーン」が八回を予定。自転車利用と歩行者利用に区別した歩道、中区の栄周辺で開かれた。市は、自転車と歩行者、乗りやぶと環境への安全を促す。

進んでいる。キャンペーンでは、警察音楽隊を先頭に参加者約六十人が、同華本計画で手始めに整備した大津通の栄交差点―大津橋間(約一・三キロ)の一部をパレード写真。「夜はライトをつけましょう」などと自転車のマナー向上を呼びかけるのほり旗で通行人にアピールした。

パレードに先立ち、同区錦三の米小公園では、放浪自転車道放浪を呼び掛けるぬいぐるみ劇や、市職員森本章夫さん(心)緑区鳴海町が探検隊をテーマに作詞作曲した「みんなでへんげん」の合唱があり、招かれた東桜幼稚園(東区東桜)の園児八十五人が耳を傾けた。同幼稚園の神野英夫君(心)は劇を見た後「自転車を置かなくてもいいのよ」と話していた。

障害者らの絵手紙見て
中村区で作品展
脳卒中の後遺症などで障害を持った人たちがつくった絵手紙サクルの作品展「誰かに聞けたら、今日の小さな幸せ」が、中村区名駅南一の喫茶店「ドリー」で開かれている。十二日まで。

絵手紙サクルは、中途障害者の中継年のり(ハビリ)に役立ててもらい、二年前に設立された。現在は、自身も失語症の後遺症を持つ飛川修治さん(心)「昭和区鶴舞」を中心に二十一人が活動。会場には季節の野菜や花の絵に詩の一節などを添えた作品三十二点が並び、「ドリー」は脳卒中などで後遺症を持った人たちが運営されている。ボランティアが働く田中明美さん(心)「守山区森孝」は「障害者の作

自転車安全利用促進キャンペーン 新聞記事

■工夫した点

幼稚園児が楽しく簡単に要点を理解できるように、ぬいぐるみ劇や歌と踊りで楽しく学習できるように考えました。

参加者だけではなく沿道の人にも広報するために、警察音楽隊を先頭にパレードを行い広報でプラカードで啓発活動を行うなど、いろいろな人に見ていただけるようにしました。

又、開催日を本市の環境デー(毎月8日)にあわせ、環境負荷の少ない乗り物であることの啓発も行いました。